



ROCK PAINT

ホルムアルデヒド放散等級区分

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

JIS A 6909

建築用仕上塗材
可とう形改修塗材E
上塗材 耐候形1種

※弾性を除くツヤ有りのみ適用となります。

超低汚染 高耐候性 環境対応

水性1液架橋型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料

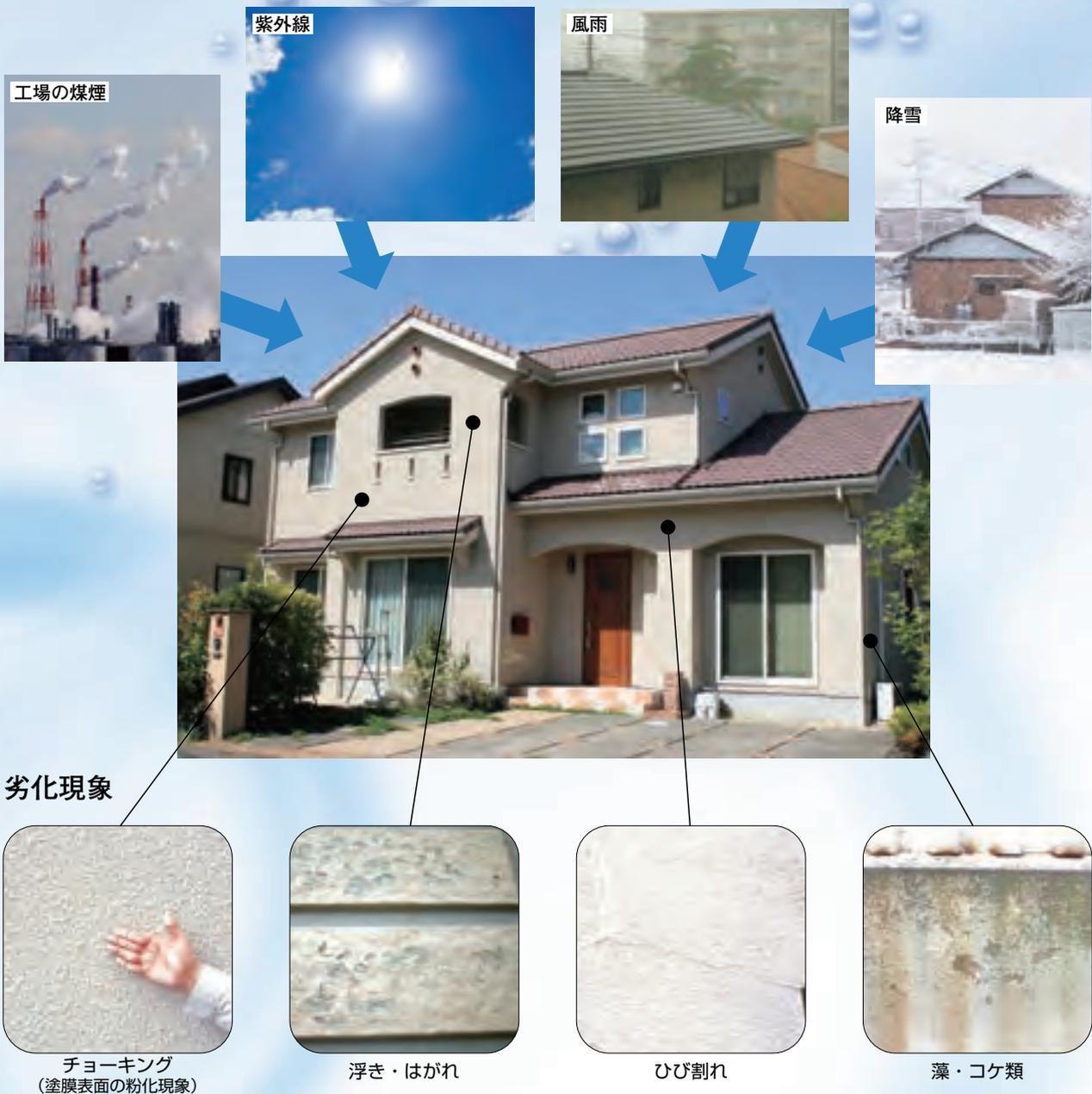
ハイパービルロック セラ

ロックペイント株式会社

いつまでもキレイに、いつまでも美しく…

近年、快適な居住生活や建物の資産価値を維持するために様々なニーズがあります。ロックペイントでは、様々な分野で求められる性能を発揮するために培ってきた技術を集約し、従来のアクリルシリコン樹脂を凌駕する高性能かつ多機能なリアルハイブリッドシリコン樹脂塗料「**ハイビルロックセラ**」を開発しました。**ハイビルロックセラ**は建物をキレイに美しく彩り、様々な劣化因子から建物を守ります。

建物は常時太陽光（紫外線）、風雨、降雪、寒暖、乾湿、工場からの煤煙などの劣化因子にさらされています。



特長

その1 超低汚染性

独自のセラミック技術による緻密な塗膜の形成と、帯電防止モノマー配合により、汚れを寄せ付けません。また親水性塗膜のため、降雨によるセルフクリーニング作用が長期間発揮し、付着した汚れを洗い流します。

〔雨筋汚染試験〕



ハイパビルロックセラ

市販品A

市販品B

その2 高耐候性

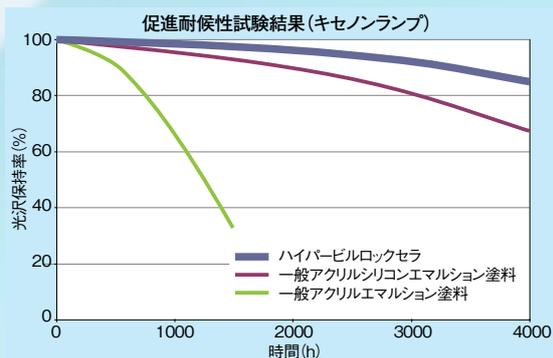
当社独自のリアルハイブリッドシリコン樹脂と、特殊コーティングチタン顔料及びラジカル吸着安定剤 (HALS) によるラジカルコントロール技術で、従来品に比べ飛躍的に耐候性が向上しました。

〔リアルハイブリッドシリコン樹脂〕

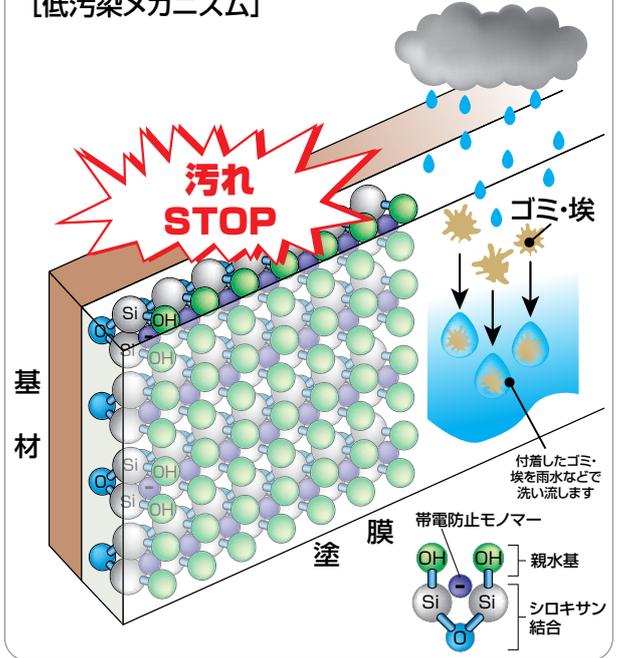
耐候性・硬さに有効な無機 (セラミック) 成分と、効率の良い形成と柔軟性のある有機成分が精密に導入 (リアルハイブリッド) された樹脂で、クラックなどに耐久性があり、かつ超低汚染性を発揮します。

〔特殊コーティングチタン顔料とHALS〕

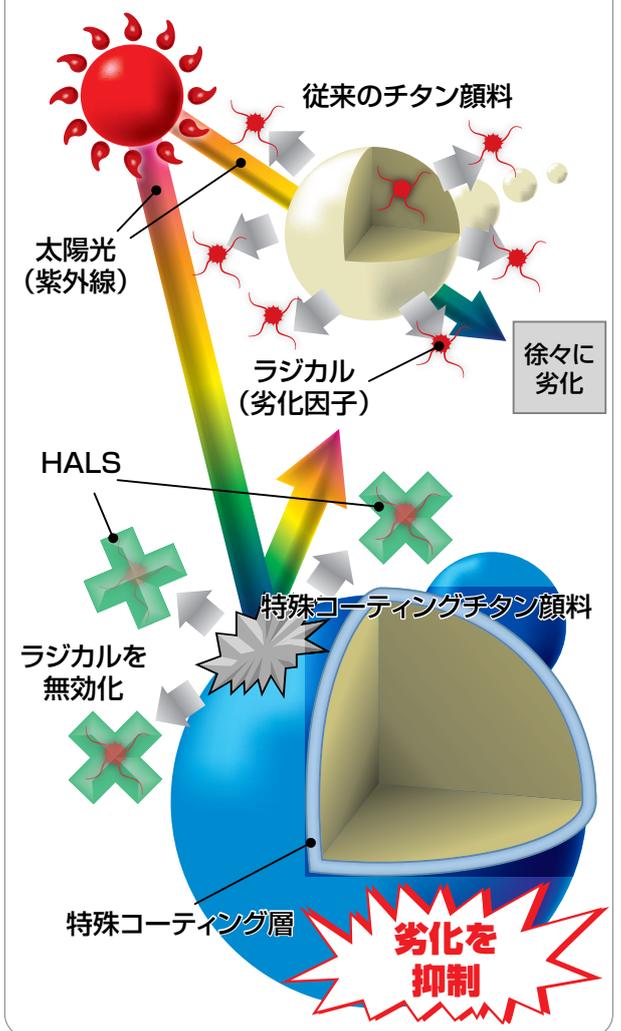
紫外線を遮断する特殊コーティングを施したチタン顔料で、ラジカル (劣化因子) の発生を抑制し、また抑制しきれないラジカルもHALS (ラジカル吸着安定剤) によって無効化にします。



〔低汚染メカニズム〕



〔ラジカルコントロールメカニズム〕



その3 メンテナンスコストを節約

ハイパービルロックセラは従来品に比べ高耐候性のため、面倒な塗り替え改修のサイクルを延長することができ、ひいてはメンテナンスコストを節約することが可能です。

【メンテナンスサイクルの比較】

※このサイクルはハイパービルロックセラ15年、従来品10年としていますが、この期間は社内試験に基づいたものであり、保証するものではありません。

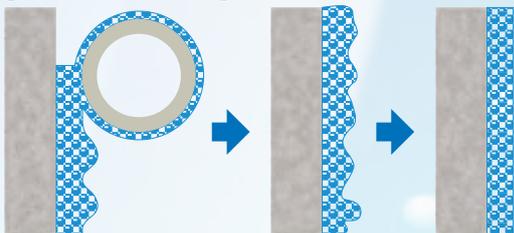


その4 作業性、仕上がり、ひび割れ追従性にすぐれる

分子レベルで緻密に設計されたハイパービルロックセラはローラーの転写性にすぐれ、軽い塗りごちを実現します。また、特殊シリコン樹脂の微粒化により形成される今までにないセルフレベリング性能は、従来の水性塗料では得られなかった高光沢を発揮します。弾性タイプは躯体のひび割れに対して追従性にすぐれます。

セルフレベリング機能により、均一な仕上がりを実現

【セルフレベリング機能】



顔料分の表面特殊加工により、軽い塗装作業性を実現。また塗料の転写性を向上させるために、塗料の付着を向上させることで抜群の塗りごちを実現。

【光沢比較】



ハイパービルロックセラ 市販品

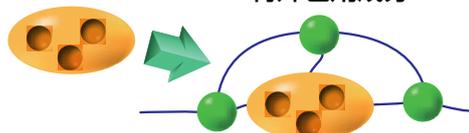
その5 防藻・防かび性

水に不溶な強力防藻・防カビ剤を包剤化特殊成分により、均一に分散することに成功しました。

水に溶けないため風雨による流出が発生せず、長期間持続性を発揮します。また薬剤による土壌汚染にも配慮しています。

防藻・防カビ剤

特殊包剤成分



◆カビ抵抗試験



カビ抵抗試験においてハイパービルロックセラは、塗膜表面にカビが生えることなく、すぐれた防カビ性能を発揮します。

乾燥時間

温度	10℃	23℃	30℃
乾燥時間	3時間	2時間	1時間

性能試験比較

項目	ハイパービルロックセラ	市販品A	市販品B	市販品C
鏡面光沢度(60度)	88	80	78	87
隠蔽性(白)	○	○	×	△
汚染性	○	△	△	○
耐候性	○	△	○	○

(優)○>△>×(劣)

用途

- コンクリート、モルタル、ALCパネル、スレート板、鉄部などの建築物内外部の新設及び塗り替え。
- 可とう形改修塗材の上塗り、各種旧塗膜をはじめ、窯業系サイディングボード、硬質塩ビ(雨樋など)の塗り替え。

※鉄部には、下塗りにサビ止めペイントが必要です。

物性試験

ハイパービルロックセラ ホワイト

試験項目	判定基準	性能
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業性に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
低温安定性(-5℃)	変質しないものとする。	合格
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	5℃	4時間以内
隠ぺい率(%)	95以上	合格
鏡面光沢度(60度)	70以上	合格
耐水性	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。	合格
耐洗浄性	1000回の洗浄に耐えるものとする。	合格
促進耐候性(キセノンランプ法)	2500時間の試験で光沢保持率が80%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格
屋外暴露耐候性	24か月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ・はがれ・膨れ及び穴がなく、色とツヤの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格

品名・容量・艶

品名	容量	光沢	標準塗布面積(15kg・1回)
ハイパービルロックセラ ホワイト	15kg・*3kg	ツヤあり、5分ツヤ 3分ツヤ、艶消し	83~125㎡
ハイパービルロックセラ 弾性 ホワイト	15kg	ツヤあり	

※指定色(調色品)のみ3kgがあります。

- ロックカララントシステム用のホワイトベースとして、それぞれウィークポイント(15kg・調色はベースの10%以内)、ニュートラルベース(14kg・調色はベースの10%以上15%以内)があります。

標準塗装仕様

外装材の塗り替え(コンクリート・モルタルなどの下地〔可とう形改修塗材E使用〕)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(Kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストリックフィラーⅢ	水	ローラー : 5~10	1	0.3~0.5	4時間以上
			エアレス : 5~10			
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	砂骨ローラー : 1~5	2	0.12~0.18	2時間以上
			ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20			

注) ●下塗りの塗装用具は、上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。

- ビニロックエラストリックフィラーⅢを吹き付けする場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りをを行い、条件を設定してから塗装してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

標準塗装仕様

窯業系サイディングボードの塗り替え（弾性仕上げ）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー	水	ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 弾性 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.12~0.18	2時間以上

一般鉄部の塗り替え（平滑仕上げ）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれかかった部分、ふくれ部分はワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で削りかすとともに完全に除去する。チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン ハイプライマーアークア 配合比(重量) 主剤:硬化剤=2:1	水	ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.14~0.16	4時間以上 7日以内
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.12~0.18	2時間以上

注) ●ハイプライマーアークアには、グレーとホワイトがあります。

●下塗り塗装において、夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨した後、脱脂等清浄な面とした上で上塗り塗装してください。

硬質塩ビの塗り替え（雨どいなど、平滑仕上げ）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。塗装する面にサンドペーパーP240~P400で研磨による表面荒らしを行う。					
下塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	2時間以上
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.18	2時間以上

コンクリート、モルタルなどの新設（平滑仕上げ）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。 (含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ	水	ハケ、ローラー : 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.07~0.13	3時間以上
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.12~0.18	2時間以上

注) ●ロックカチオンシーラーマルチⅢはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。

●素地の吸い込みが著しい場合、強アルカリ性が予想される場合は弱溶剤型シーラー（ユメロックシーラー、エボシーラーマルチ、ハイパーシーラーエボ）を使用してください。

●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

一般鉄部の新設（平滑仕上げ）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤サビを念入りに除去する。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、又はSIS St3。 じんあい、水分、油脂分は完全に取除き、塗装しない箇所をマスキングしてください。					
下塗り	061ライン ハイプライマーアークア 配合比(重量) 主剤:硬化剤=2:1	水	ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.14~0.16	4時間以上 7日以内
上塗り	111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.12~0.18	2時間以上

注) ハイプライマーアークアには、グレーとホワイトがあります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 調色にはロックオンカララント7000(ベースの7%以内)を使用してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築シーラーで適切なものを使用して、あらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 旧塗膜が活膜の場合、表面荒らしが必要な場合があります。またフッ素塗料への塗替えには使用できません。
- 改修塗装の場合、素地の種類によっては、塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをすることをおすすめします。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱性住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてきたりすることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れを起こす場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想される場合は、弱溶剤型シーラーを使用してください。また改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをした上で本塗装を行ってください。
- 押出成形板、GRC板などの新設塗装には、下塗り塗料としてユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを使用してください。種類によっては密着不良をおこす場合がありますので、試し塗りをすることをお勧めします。
- サイディングボードは種類により塗料が付着しにくいものがありますので、塗装の際は事前に確認の上、施工してください。場合によってはハイパーシーラーエポを下塗りとした仕様もありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りをし、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。溶剤型塗料を使用するときは火気厳禁にしてください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラーの境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ハケ塗りやローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分は希釈をやや少なめに塗装してください。
- 作業能率の低下及び塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ツヤ調整品では、塗り継ぎや補修の際にツヤむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落とししてください。乾くと落ちにくくなります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 各工程の塗装間隔や塗装回数、塗分量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗分量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗分量より多くなる場合があります。
- シーラーを、吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- シーラー塗装後、使用方法の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こしますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- この仕様書は全ての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗分量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 笠木、天端など長時間水が溜まる箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗色が濃彩色の場合、塗膜を強くこすると色落ちしたり、さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず色むらが出たり、塗装回数が増えたりする場合がありますので注意してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- ハイプライマーアクア、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアは主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し、可使時間内に使用してください。
- ユメロックシーラー硬化剤は、アミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状、施工後塗膜が十分に乾燥する前および乾燥して初期の段階で天候(気象)不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合がありますのでご了承ください。
- ドアパッキンや緩衝材を含むプラスチック製品に乾燥した塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後に、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。

❗ 安全・衛生及び取扱い上の注意

【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入らないようにしてください。

【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照ください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号 渡正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

URL : <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：